

以下の通り表記に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを訂正してお詫び申し上げます。

該当刷ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初版 p.28	図 1-5-1 電磁波の種類	マイクロ派	マイクロ波
〃	図 1-5-1 可視光の波長	0.5×10^6	0.5×10^{-6}
初版 p.54	図 2-5-2 右端	10^{-36} 秒	10^{-38} 秒
初版 p.56	図 2-6-1	aLIGO O2	AdvLIGO (aLIGO O2)
〃	下から8行目	1000Hz辺り	100Hz辺り
初版 p.81	3行目	陽電子(反粒子)	電子(粒子)
初版 p.95	本文 下から2行目	クォーク(陽子、中性子 ~	核子(陽子、中性子 ~
初版 p.100	下から8行目	ヘリウム4 (^4H)	ヘリウム4 (^4He)
初版 p.101	下から7行目 ~5行目	次の図4-6-2は、現在のニュートリノの質量の、実験による絶対値の上限を表しています。後に説明するように、質量差は正確に測られているのですが、絶対値の値は定まっていないのです。	→削除
初版 p.122	最終行	π^-	μ^-
初版 p.123	4行目	反電子型ニュートリノ	電子型ニュートリノ
初版 p.137	下から3行目	重水(H_2O_2)	重水(HDO)
初版 p.141	図 5-9-1	放射性物質期限の熱生成	放射性物質起源の熱生成
初版 p.163~p.164	p.163 最終行~ p.164 2行目	陽電子(反電子)の概念は、マクスウェルの電磁気学の方程式をディラックが相対論的量子論に拡張したときに、必然的に出てきたものです。	陽電子(反電子)の概念は、ミクロの物理を記述する非相対論的量子論の方程式であるシュレーディンガー方程式をディラックが相対論的量子論に拡張したときに必然的に出てきました。同時にマクロの物理を記述する非相対論的なマクスウェルの電磁気学の方程式も相対論的に書き換えられます。
初版 p.164	14行目~	マクスウェルの方程式は電気回路(または電子回路)の中のすごく遅い電子に対してのみ成り立つ理論です。	マクスウェルの方程式は電気回路(または電子回路)の中のような、光速にくらべてすごく遅い電子に対して成り立ちます。
〃	本文 下から5行目~	ディラックはマクスウェルの方程式に特殊相対理論を入れようと努力しました。	ディラックはシュレーディンガー方程式を相対論的に書き換えました。上記のマクスウェルの方程式も修正されます。
〃	本文 下から3行目	遅い電子回路の中だけでなく、電子が速く動いて	光速に比べて遅い電子だけでなく、電子が光速のように速く動いて。

初版 p.189	本文4行目	1兆eV	1 千 兆eV
初版 p.198	「宇宙の小窓」 下から4行目	$g_{\mu\nu} + \eta_{\mu\nu} = h_{\mu\nu}$	$g_{\mu\nu} = \eta_{\mu\nu} + h_{\mu\nu}$